

日本工学院専門学校	開講年度	2020年度	科目名	プロダクトデザイン実習2A	
科目基礎情報					
開設学科	プロダクトデザイン科	コース名	全コース	開設期	後期
対象年次	1年次	科目区分	必修	時間数	60時間
単位数	2単位	開講時間	木曜 1時限～	授業形態	実習
教科書/教材	プロダクトデザインのためのスケッチワーク				
担当教員情報					
担当教員	堀越 拓水	実務経験の有無・職種	有・デザイナー		
学習目的					
この科目を受講する学生は、プロダクトデザインのスケッチの技術を修得します。これから経験していく仕事の現場で、役に立つスケッチの知識と技術を学び、スケッチ用具の正しい使い方とパースの理解とスケッチの方法を身に着けるようになります。プロダクトデザインの「デッサン力」に関連する知識と表現を理解し、デザイン提案をする際に必要な能力を積極的に学び、アイデアスケッチと提案模型製作が実践することができるようになるのがねらいである。					
到達目標					
この科目では、学生が、プロダクトデザインのスケッチを学び、図形・パース・作例・実例のカテゴリーからプロダクトデザインのスケッチを理解して、社会で活躍するために必要な技術や知識を向上させること、段階的にパースの概念、スケッチの種類、スケッチ用具の使い方を理解して、パース、スケッチ、透視図、アクソメ、提案模型製作ができるようになることを目標にしている。					
教育方法等					
授業概要	この授業では、教科書の内容に沿って、講師からの解説を受けます。スケッチ用具の使い方、線の種類、透視図法と立方体と多面体、シンプルな形の商品のスケッチ、トレースと段階的に技量を向上する授業です。講師のデモンストレーションから学びを深め、学生の「プロダクトデザインのスケッチ力」を育成していく。この授業に主体的に参加する学生が、自分の「プロダクトデザインスケッチ力」を自分自身の実践し、活用できるようになることを目指す。				
注意点	この授業では、基礎を習得した学生にスケッチでの表現から、プロダクトデザインに触れてもらう機会になります。授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。スケッチの仕方、表現を知り、今後、現場で求められるレンダリングスケッチの修得に推移を考えた中段階の実習になります。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者はこの科目合格することができない。				
評価方法	種別	割合	備考		
	プレゼン	20%	制作物の発表方法、内容について評価する		
	課題完成度	40%	提出課題完成度を総合的に評価する		
	リサーチ	20%	制作準備と過程を評価する		
	平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容	各回の到達目標			
1回	透視図法の理解	立方体のスケッチする			
2回	透視図法の理解	3つの立方体のスケッチする			
3回	透視図法の理解	立方体から椅子をスケッチする			
4回	透視図法の理解	立方体から椅子をスケッチする			
5回	シンプルな形	ペン差しをスケッチする			
6回	シンプルな形	収納シェルフをスケッチする			
7回	シンプルな形 模型製作	収納シェルフの見本模型を製作する			
8回	シンプルな形	コートハンガーのスケッチから、オリジナルのアイデアスケッチをする			
9回	シンプルな形 模型製作	コートハンガーのオリジナル模型を製作する			
10回	シンプルな形	ブロックソファのスケッチから、オリジナルのアイデアスケッチをする			
11回	シンプルな形 模型製作	ブロックソファのオリジナル模型を製作する			
12回	シンプルな形	調味料入れをスケッチのスケッチから、オリジナルのアイデアスケッチをする			
13回	シンプルな形 模型製作	調味料入れのオリジナル模型を製作する			
14回	発表の準備	提出する3つのオリジナルのスケッチと模型の準備を整え、チェックを受ける			
15回	全て提出発表	全体のまとめ			